

1 学習に取り組んでいる主な分野

☐ 生物多様性	☐ 海洋	☒ 防災・減災	☒ 気候変動
☐ エネルギー	☒ 環境	☐ 文化多様性	☒ 世界遺産・文化財
☐ 国際理解	☐ 平和	☐ 人権	☐ ジェンダー平等
☒ 福祉	☐ 生産と消費	☐ その他（ ）	

2 ユネスコスクールとしての活動の概要

本校は、「自ら学ぶ意欲と豊かな心を持ち、ともに持続可能な社会を創る子どもの育成」を学校理念として、ESD を子どもがまちづくりに参画・貢献する力や態度を身に付けるための教育と捉え、ESD の実践を通して、未来像を予測して計画を立てる力、コミュニケーションを行う力、他者と協力する態度、進んで参加する態度の育成を目標とした。具体的には、SDG 11 を目標に「花でつながるあたたかいまちづくり」「安心してくらすまちづくり」「歴史と文化を大切にするまちづくり」を柱にした①環境教育・福祉教育、②世界遺産・地域遺産学習、③防災・減災学習を行うようにした。



3 特徴的な活動事例の紹介

○ フラワータウンプロジェクト「花でつながるあたたかいまちづくり」

「花でつながるあたたかいまちづくり」を目指し、5年生の子供たちは学校の近隣の人々とともに駅前や国道沿いのロータリーの花壇に花を植えて世話をしている。さらに、お世話になった人々に折り紙の花の付いた手紙を届けたりするなど、人の心にも花が咲くようなまちにしようとしている。校区で花屋を経営されている方をはじめ、多くの地域の方々のご協力により、色鮮やかな花の苗を植えた。このように、子供たちは人々が優しい気持ちになる学校・地域を願い「大正フラワータウンプロジェクト」に取り組んでいる。



○ 地域とともに安心・安全なまちづくりをめざす学習

4年生は地域の人がつながり「子ども SOS の家」が子供たちにとって身近な存在になるようにと「大正校区子ども SOS の家マップ」を作成し、「子ども SOS の家」の方の顔写真や子どもたちへのメッセージを掲載するなど工夫し、安心安全なまちづくりをめざした。また、みんなが「子ども食堂」を利用するようにポスターを作成して学校の掲示板に貼り、啓発活動を行った。さらに、本校の花だんで育てた野菜を「子ども食堂」に寄付をした。



○ 地域遺産学習、減災・防災学習

6年生は「歴史と文化を大切にするまちづくり」を目指し、地域の歴史と文化を調べ、調べたことを身近な人々に説明・紹介する活動を行った。

また、「安心してくらすまちづくり」を目指し、1年生は減災カルタで自然災害や減災の知識を学んだり、3年生は非常用持出袋の中身を考える活動、避難所を設営する体験活動を行ったりした。

特に3年生は、大牟田市役所防災危機管理室の2名をゲストティーチャーとしてお招きし、避難所体験を行った。その際に、簡易テントや簡易ベッドの設営、簡易トイレの使い方など、避難所生活に必要なことを体験した。トイレに関しては匂い対策として凝固剤を使って水を固めることで匂いを防ぐという工夫も体験するなど、避難所生活の大変さを実感できた。



3 今後の活動計画

子供がまちづくりに参画・貢献する力や態度を身につけるための教育をより一層推進する。そのために、

- 「花でつながるあたたかいまちづくり『大正フラワータウンプロジェクト』」
- 「歴史と文化を大切にするまちづくり『世界遺産のあるまち発信プロジェクト』」
- 「安心して暮らすまちづくり『命を守る減災・防災プロジェクト』」

の3つの教育プロジェクトを柱とし、子供が社会とつながりながら主体的に学び、行動するカリキュラムの充実を図り、家庭・地域・行政と連携してさらに充実し、取り組んでいく。